



戸田市立戸田第二小学校

10月は「食品ロス削減月間」です！



2015年9月に国連サミットで「持続可能な開発目標(SDGs)」が決まりました。この目標には17のゴールがあり、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会実現のため、世界各国で取り組んでいます。そのひとつ「12 つくる責任 つかう責任」を達成できるように、毎日の生活を振り返ってみませんか？

「食品ロス」とは… 本来、食べられる食べ物が捨てられてしまうこと。

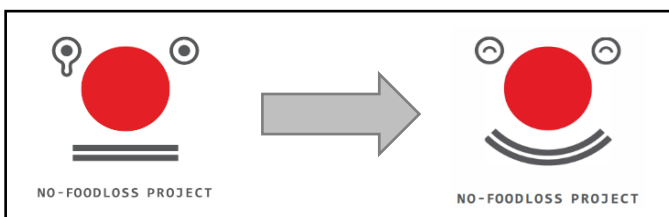
食品ロスは大きく2つに分けられ食材を製造する過程で出る「事業系食品ロス」と各家庭から出る「家庭系食品ロス」に分けられています。



資料：総務省人口推計(2020年10月1日) 令和元年度食料供給表(確定値)

食品ロスを減らすためには、家庭での意識はもちろん、食べ物を買うお店、外食をするときにも食品ロスを減らすことができるように取り組むことが大切です。

農林水産省では『食品ロス削減国民運動』に取り組んでいます。「家庭系食品ロス」を減らせるよう、意識して食材を選んでいきたいですね。



「食品ロス削減運動」ロゴマーク「ろすのん」

ろすのんのロゴマークは、真ん中の赤い丸はお皿、下の2本線はおはし、右目の涙は「もったいない」を表しています。

食品ロス削減 3つのコツ

1 買い過ぎない

いえ 家にある食材をチェックし、使いきれぬ分だけ買いましょう。

2 作り過ぎない

かぞく 家族の予定や体調を考慮し、食べきれぬ分を調理しましょう。

3 食べ残さない

つく 作った料理は早めに食べ切りましょう。